

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
家庭	家庭基礎	2単位	2年次		
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。					
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。					
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					

評価の観点

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③学びに向かう力・人間性
生活を主体的に営むために必要な、人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価方法	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識・技能(基本的な知識・技能の習得)	定期テスト、小テスト、ワークシート、出来映え等	学習内容を深く理解し、意欲的に学習活動に取り組むとともに、技能を十分身に付けている。(達成率:85%以上)	基礎的な学習内容を理解し、学習活動に取り組むとともに、技能を身に付けている。(達成率:40%以上)	基礎的な学習内容が理解できず、技能の定着が不十分である。(達成率:40%以下)
②思考力・判断力・表現力(知識の活用、解決する力)	ワークシートやレポートの表現、発表、定期テスト等	課題に対して様々な視点から考察し、根拠や理由等を示しながら論理的に自分の考えをまとめることができる。	課題に対して考察し、自分の考えをまとめることができる。	課題に対して、自分の考えをまとめることができるが不十分である。
③学びに向かう力・人間性(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	授業中の様子、グループ学習の様子、ワークシートの表現や工夫	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、他者の価値観を尊重しながら主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、参画、実践しようとしているが不十分である。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	第1章 生涯を見通す	ライフステージと課題、自立、意思決定	5				◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】 ◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】 ◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
5	第2章 人生をつくる	家族、民法、成年年齢、働き方	5				
6	第5章 共に生き、共に支える	ボランティア、社会福祉、防災意識	2				
7	第9章 経済活動を営む	意思決定、悪質商法、購入と契約、支払、家計、消費者	9				
8	第10章 持続可能な生活を営む	エシカル消費、自然環境や社会環境	2	○	○	○	
	第7章 衣生活をつくる	被服の役割、繊維の性質、洗濯、保管	8				
9	第7章 食生活をつくる	食生活の課題、栄養、食中毒、献立、食文化	10				
10	第3章 子どもと共に育つ	妊娠と出産、子どもの発達、権利と責任、こども基本法	9				◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】 ◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】 ◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
11	第4章 超高齢社会を共に生きる	高齢期の健康と自立支援、介護保険、地域づくり	5	○	○	○	
12	第8章 住生活をつくる	住居の機能、平面図と記号、防災、健康と住生活、起居様式、環境	5				
1,2	第6章 食生活	調理実習	6				
3	第11章 これからの生活を創造する	ライフプラン ホームプロジェクト	4				

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
家庭	フードデザイン	2単位	3年次	E1E5	
教科書	フードデザイン(実教出版)				
副教材等	オールガイド食品成分表2024(実教出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
1 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。					
2 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う立場として合理的かつ創造的に解決する力を養う。					
3 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					

評価の観点

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③学びに向かう力・人間性
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自らの課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまで総合的に捉えて、主体的に計画、実践することができる。また、習得した知識や技術を家庭や地域で積極的に活用することにより、食育の推進に他と協働して取り組むことができる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価方法	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識・技能 (基本的な知識・技能の習得)	定期テスト、小テスト、ワークシート、出来映え等	学習内容を深く理解し、意欲的に学習活動に取り組むとともに、技能を十分身に付けている。(達成率:85%以上)	基礎的な学習内容を理解し、学習活動に取り組むとともに、技能を身に付けている。(達成率:40%以上)	基礎的な学習内容が理解できず、技能の定着が不十分である。(達成率:40%以下)
②思考力・判断力・表現力 (知識の活用、解決する力)	ワークシートやレポートの表現、発表、定期テスト等	課題に対して様々な視点から考察し、根拠や理由等を示しながら論理的に自分の考えをまとめることができる。	課題に対して考察し、自分の考えをまとめることができる。	課題に対して、自分の考えをまとめることができるが不十分である。
③学びに向かう力・人間性 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	授業中の様子、グループ学習の様子、ワークシートの表現や工夫	進んで学ぶ意欲を持ち、自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、他者の価値観を尊重しながら、主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、参画、実践しようとしているが不十分である。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	第1章 食生活と健康	食事の意義と役割 食を取り巻く現状	6				◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】
5	第2章 栄養素のはたらきと食事計画	栄養素、ライフステージと栄養、食事摂取基準と食事計画	6				◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】
6							◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
7			7	○	○	○	
8			8				
	第3章 食品の特徴・表示・安全	様々な食品、生産と流通、選択と表示、食中毒	7	○	○	○	◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】
	第4章 調理の基本	調理操作	8				
	成分表の使い方		3				
9	第5章 料理様式とテーブルコーディネート	料理様式と献立とテーブルコーディネート(和食、洋食、中華)	5				◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】
10	第7章 食育 ※調理実習はその都度計画する	食育の意義と推進活動	3				◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
11			20	○	○	○	
12							
1		献立作成、ホームプロジェクト	2				